

Ⅲ 調査の結果

- アンケート調査結果における各設問の回答数N（Number of cases の略）は、設問に対する有効回答者数を意味している。
- 各選択肢の構成比（％）は小数点第2位以下を四捨五入している。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合がある。
- 凡例における「無回答」には、択一式の設問に対して複数回答している場合など、回答はあるが無効となったものも含んでいる。
- 18～19歳の回答数が少ないため、結果を図表にのみ表示し、分析コメントからは除外している。
- 〈施策に向けての一言〉は、関西学院大学政治行動研究センター 山田真裕 教授によるものである。

